

2014年度 次世代ワイヤレス通信技術講座 第5講

講座長：山本平一先生（奈良先端科学技術大学院大学 名誉教授）

最新ワイヤレス通信技術を学ぶ！

- 対象者 研究・開発技術者から管理者・経営者まで
- 講師陣 山本講座長の企画による最先端でご活躍の講師陣
- 低価格 公益活動であるメリットを活かしたリーズナブルな受講料
- 分かり易さ じっくり基礎技術から最先端技術・動向まで
- 幅の広さ 年間受講により最先端技術や事業動向の把握が可能

受講料

会 員：12,000 円

非会員：15,000 円

日時 1月16日(金) 13:30 ~ 17:00

会場 ハービス PLAZA 5F 会議室 (大阪市北区梅田2丁目5番25号)

プログラム

※事情により講演者・講演内容・開催日・場所が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

特定小電力無線を使った近距離無線通信の動向

NTT 未来ねっと研究所 主幹研究員 清水 雅史 氏

13:30
~
15:10

2010年代に入って、諸外国の特定小電力無線を使った新しいサービスに合わせた法改正が行われ、これらのサービスが実用化され始めている。

本講演では近い将来、爆発的に発展する可能性を持つ、全く異なった例として、通信距離約300m、セル当たり50000局、電池駆動で10年間運用可能な920MHzを用いたIOTソリューションの例と、60GHzを用いて最高2Gbpsで通信可能な、近接超高速通信システムの例について解説する。

15:10~15:20 休憩 (10分)

MIMO 無線通信システムにおける信号処理

横浜国立大学大学院 准教授 落合 秀樹 氏

15:20
~
17:00

送受信端末間で複数のアンテナを用いる MIMO 無線通信システムは、周波数効率を効果的に高める手法として注目されるとともに、標準化および実用化が進められている。MIMO に基づく高伝送速度および高信頼通信の実現には数々の方式が提案されているが、本講演では、特に送信側で送受信機間のチャネル情報を必要としない MIMO 空間多重方式に着目する。MIMO 受信回路における最適な復調に要する演算量は、一般に送信アンテナ数に従い指数関数的に増加するため、現在までに数多くの低演算復調法が提案されている。

本講演では、MIMO 通信の基礎理論について平易に解説するとともに、これらの復調手法について、本講演者らの提案方式を交えながら解説する。

申込要領

申込方法

申込書をダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、申込先アドレスまでお申し込みください。
申込後、メールにて受付完了のご連絡をお送りいたします。

申込書ダウンロード

<http://www.kec.jp/wp/img/committee/2014/jisedai14.xls>

申込先アドレス

publication01@cec.jp

送金方法

請求書をご送付いたします。記載の指定銀行にお振り込みください。

ご注意

- ※受講票等は発行していません。資料は当日配付いたします。
- ※請求書発送後のキャンセルは原則としていたしかねます。
- ※欠席の場合は代理出席を受け付けております。

お問い合わせ先

一般社団法人 KEC 関西電子工業振興センター
専門委員会推進部 事務局 柴田 賢一
TEL: 0774-29-9041 / E-mail: publication01@cec.jp

会場案内図



■最寄り駅(徒歩)

阪神梅田駅(西改札)	約 5分
JR 大阪駅(桜橋口)	約 7分
JR 東西線北新地駅(西改札)	約 10分
地下鉄四つ橋線西梅田駅(北改札)	約 5分